



かじやま

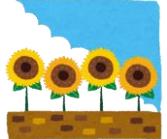
かんどうがいっぱい じまんがいっぱい やる気じゅう分 毎日が楽しい 梶山小

R7.8.18(月) : 文責 校長



◆私たちの学校（52年前の6年生児童作文）◆

*夏休みもあと1週間です。整理作業をしておりましたら、52年前の梶山小児童作文を目にすることができます。紹介したいと思います。



私たちの学校（52年前の6年生児童作文）

私たちの学校は、もう今年で100周年になります。この長い年月の間、祖父母や父母、お姉さん、お兄さん、私たちがいろいろなことを学びました。この勉強によって社会へ出て、いろいろなことに役立ちます。

また、私が今の学校を誇りに思うことがたくさんあります。健康優良学校、県一位であることです。これは、保健活動や学校の校庭などがとてもきれいで、清潔だからだと思います。こうして、県一になれたのも先生方が中心になって、私たち生徒が一生懸命学校の掃除をしたり、保健活動でも夜の歯磨き、かんぶ摩擦、歯科・眼科の治療、保健に関する調査や、それなどを載せる保健だよりなどをがんばったりしたからです。

そのほか、小さなことでも色々とあります。挨拶や、便所の下駄の並べ方などです。こんな小さなことでも、少しずつきれいにすることのできる学校は、立派な学校だと私は思います。

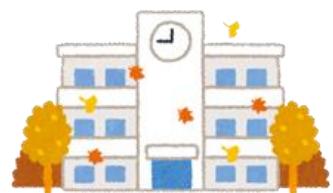
貯金活動でも立派です。毎月2回ほど、学校の子供郵便局に貯金します。この貯金は、みんなお小遣いを節約したり、おじさん、おばさんなどからもらったお金を貯金したりするのです。こういうふうに、何年も前にできた色々な活動は、昔から少しずつ積み重ねてきたからこそ、こんなに立派になっているんだと思います。

学校林もあります。この山は毎年、父母が夏休みに暇を見て、暑い中をやばなぎをしてくれます。三学期の別れ遠足は、いつも細目の学校林です。学校林の木の様子を中野の人が調べていて発表してくれます。造林部長さんの方からも木の様子などを教えてくれます。それから、木に巣箱をかけたり杉の木を植えたりします。これだけでもとても楽しみです。

私たちの子供や孫が学校に入学し、学校の役に立つのだと思うと、とても楽しみです。この学校林でもずいぶん前から木を植えて学校の役に立つようにと思って、私たちの祖父母や父母が学校林に木をたくさん植えたのだと思います。

私たちの学校をますます立派な学校にするためには、たくさんすることができます。健康優良校県一位でしたが、これをもっと立派な悪いところの一つもない学校にすること、貯金活動にしても無駄遣いをしないと口で言うだけではなく実行するようになるなどいろいろなことを祖先に負けないように立派にしていきたいと思います。

私たちは今年で卒業するので、大事なことを一つでも梶山小の歴史に残るようにしたいと思います。



☆◆50年前の梶山小児童の作文はいかがだったでしょうか？！

私自身も、この作文を読ませていただいて、いろいろと考えることができました。